

財団法人日本ラジコン電波安全協会（RCK）とラジコン模型

平成19年2月22日

ラジコンは、電波で飛行機等の模型を自由自在にコントロールして楽しむもので、国民の余暇に潤いと明日への活力を産み、将来を担う青少年には科学する心を醸成し感性を育む健全な科学ホビーとして、多くの国民から愛され親しまれております。

また、I O Cに設置された国際航空連盟（F A I）主催により世界大会、アジア大会が、2年毎に開催されるなどスポーツとして国際文化交流にも大きく貢献しております。（日本では、群馬県太田市の利根川河川敷地で、1993年世界大会、2006年アジア大会を開催）

産業界では、効率化、安全性、環境保護等の理由から実機航空機等に代わる貴重なツールとして、農薬撒布、空中撮影、気象・火山等観測、防災利用等あらゆる分野で利用され、今や、社会経済に大きく寄与・貢献しており、その利用は年々拡大しております。

現在、我が国のラジコン運用者は、飛行機、ヘリコプター、グライダー等に約50万人、車やボート等に約500万人（トイラジコンを含む全体では1000万人以上）と普及し、子供から高齢者までの多くの国民に楽しまれております。

当協会は、このラジコン模型に使用される専用電波が、昭和59年郵政省（現総務省）から初めて認められたのを契機に、このラジコン用専用電波の管理と適正な運用確保及びラジコン模型の健全な普及発展を図ることを目的に、昭和60年1月郵政大臣（現総務大臣）の許可を受け設立された公益法人です。

主な事業は以下のとおりです。

- ①ラジコン用発振器の標準規格適合証明事業（電波法の規定に基づく無線機の認定）
- ②ラジコン操縦士登録事業（ラジコン運用者の把握と管理）
- ③ラジコン用電波や運用に関する周知・啓発（電波の正しい知識と安全運用の啓発）
- ④ラジコンインストラクター制度普及（入門者及び不正な運用者への安全運用指導）等

ラジコンは、正しく運用しないと事故につながるおそれがありますので、当協会では、ラジコン愛好家に対し、運用するときは地域住民に迷惑や不安を与えないよう民家等から離れた場所で周囲の安全を十分に確認した上で楽しむよう周知指導に努めております。

今、ラジコンを楽しむため、一定な広さが確保でき安全に運用できる場所としては、河川敷地が最適な場所です。そのため国土交通省から河川敷地占用許可を頂き、この利根川水系をはじめ各地の河川敷地で多くの愛好家がラジコンを楽しんでおります。

当協会では、ラジコンの適正な運用確保と健全な普及発展を図るため、インストラクターを認定し、ラジコンを始めたい人に、親切、丁寧、安全にラジコンの運用指導を行っております。是非、健康的で楽しいこの科学ホビーラジコンを大空の下で楽しんでください。

当協会では、今後ともラジコンが皆様方から、愛され、親しまれるようラジコンの健全な普及発展に努めて参りますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。



財団法人 日本ラジコン電波安全協会

<http://www.rck.or.jp>

〒111-0053 東京都台東区浅草橋4-10-8TFAビル10階 TEL 03-3864-9175